



会派みどり
渡邊 龍之

市政運営について

【質問】 職員のやる気、本気度により、新しいアイデアが創出され、市長の多様な情報も職員と共有することで、課題解決に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

【答弁】 厳しい財政状況の中で、職員一丸となりチーム滝川として知恵と工夫により施策を遂行していく必要があると考えます。

情報共有という点では、国や道、民間から得た情報はスピード感を持って職員に伝えていきます。

また、アイデア創出については、職員との対話を重視し、意見交換を行っていくよう努めています。業務推進においては必ずしもトップダウンではなく、ボトムアップで政策提言による組織運営を心がけています。

第三セクターの経営改善について

【質問】 株式会社滝川振興公社と株

式会社滝川グリーンズの合併による振興公社への影響はあるのか。

第三セクターは行政サービスの補完的な部分が強いが、独自の戦略を含めた形の経営基盤の確立が求められる。第三セクターとしての本来の在り方について伺う。

【答弁】 4月1日の両社の合併により、滝川グリーンズのすべての資産、負債、権利義務は滝川振興公社に継承され、現在貸し付けている3,500万円を含めた全債務を継承する予定です。

第三セクターは公共性や公益性の高い事業を行う重要な役割を担っていると認識しています。市長の立場としては、積極的な営業活動や経費の節減などにより、一層の経営改善に努めるとともに、市長の立場としても合併による両者の責務を一本化することにより、長期的な展望の中、第三セクターの健全化を図っていきます。

地域福祉・自立支援の充実について

【質問】 2025年にピークを迎える超高齢化社会の問題は、医療現場の人材不足、社会保障費、介護

費の増大に拍車をかける。平成30年度からの計画において、市民、地域社会、企業等を巻き込み、超高齢化社会を迎えるに当たりどのような計画を考えているのか伺う。

【答弁】 2025年までの地域包括ケアシステムの構築の推進を目標とした中長期的な2期目の計画であり、その重点目標の一つとして地域における支え合いの仕組みの整備ということを掲げています。その中核的な事業となる生活支援体制整備事業において地域住民や関係団体の協力を得て、平成30年度からまず東滝川地区をモデルとして整備を行う予定です。

また、滝川市町内会連合会連絡協議会をはじめさまざまな関係団体や企業の協力をいただき進めている高齢者見守り安心ネットワークの取り組みにおいては、29年度協力団体数が100団体を超えるなど、本市における支え合いの輪の充実も進んでいます。

男女共同参画推進計画について

【質問】 男女が互いに性別に関係なく個性と能力を十分に発揮できる場の実現を目指す、男女共同参

画社会基本法にある。平成30年度から34年度までの計画策定において、具体的項目の推進が行政主導でよいのか、前期計画からの反省すべき点や課題はないのか、また、市民周知の取り組みについて伺う。

【答弁】 後期5年間の計画においては、市民アンケート結果を踏まえ人権の尊重、女性活躍の推進、働き続けられる環境、健康づくりの4本の柱を建て具体的な取り組みを示しています。計画の推進に向けては、市民の皆さんが計画の必要性を理解し、取り組みを進めていただけるよう事業所である市役所が率先して経済団体や市民団体などに働きかけていきます。

また、周知方法につきましては、計画書を市役所くらし支援課やまちづくりセンターへの配置や関係団体などへ配付するほか、市ホームページへの掲載や6月の男女共同参画週間におけるパネル展の開催など進めていきます。

